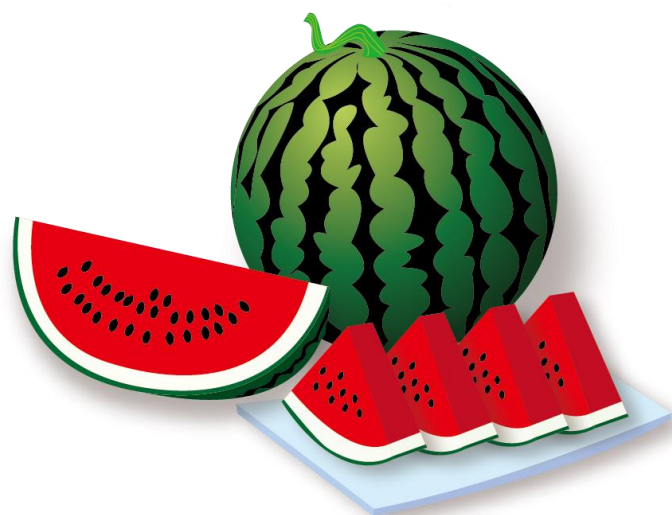


2020 年度
全国通訳案内士試験
二次口述特別
動画セミナー
講義資料

令和2年
インターネット
講師：PEP 英語学校 校長 杉森 元



「楽しい学習による自己実現」を応援する

 **PEP英語学校**
We are full of PEP!

2020 年度特別動画セミナー 講義構成

第 1 講「挨拶・全体説明」(12:45)

本セミナーの導入部です。講座の趣旨、構成等につきお話しします。

第 2 講「二次口述試験の全体像」(48:20)

課題の各論に入る前に、総論として、二次口述本試験の全体像を把握します。

第 3 講「通訳 1 理論編」(1:14:33)

各課題の中で、言語活動的に最も「異端」といえるのが「通訳」です。通訳とは、そもそものような行為なのか、を理論的に明らかにすることにより、正しい練習方法を探ります。

第 4 講「通訳 2 演習編」(51:45)

前講の理論に基づき、正しい通訳練習方法を紹介します。

第 5 講「実務質疑」(41:02)

2018 年度より加わった新課題「実務質疑」の解答法を紹介します。

第 6 講「プレゼン 1 理論編」(1:02:07)

現実のガイド業務に最も近い課題が「プレゼンテーション」です。外国人観光客の関心事について、2 分間でいかにプレゼンすべきか、を明らかにします。

第 7 講「プレゼン 2 演習編」(28:07)

前講の理論に基づき、プレゼンテーションの具体的練習法を紹介します。

第 8 講「出題予想」(13:01)

今の社会状況を勘案し、出題を予想します。

第 9 講「学習計画の立て方」(18:31)

どのような順番でどのような教材をどう使えばいいかについてお話しします。

第 10 講「その他」(20:33)

軽めの話にしようと思います。

第1講「挨拶・全体説明」

目標：本セミナーの趣旨と構成を理解

1. Greeting (講師からのメッセージ)

皆さん、こんにちは。PEPの二次口述セミナーへようこそ！校長の杉森です。今年も通訳ガイド試験が始まりましたね。頑張って、Informative, Educational, そして何より Entertaining なセミナーにしたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします！



2. 本セミナーの趣旨

二次口述は、密室内で行われるため、その実態に関する情報が少ない。また、特殊な技術が要求される課題が出されるので、正式な理論に基づいた正しい方向付けが受験者にとって不可欠である。これを提供する的就是本セミナーの目的である。

3. 教材

1. 書籍『2019年度版 全国通訳案内士試験二次口述過去問詳解 (上)』
2. 書籍『逐次通訳七番勝負!』
3. 講義資料 (このレジメ「スイカのレジメ」)



4. 二次対策は即着手！

問：「筆記試験の結果が思わしくなかったけれど、二次口述の対策をすべきですか？」

答：「筆記試験の出来にかかわらず、全員が即、二次口述対策に着手すべきです」

理由：

- ①試験は水もの（「絶対ダメ」と思ったが受かっていた、というケースがある）
- ②たとえ今回の筆記がダメでも、二次口述は、受験を続ける限りいつかは必ず受けるもの（最終合格だけが「合格」）
- ③二次口述の課題は、合格後まで役に立つ「スキル」である（早く始めて損はない）
- ④11月の筆記試験合否発表を待ってからの着手では、時間的に間に合わない（せっかく一次を通過したのに、二次でしくじるのはもったいない）

5. 講義の構成

講義の視聴により、受講者が二次口述の正体を完全に把握できるようにプログラムされている。全体像把握から個別の課題へ、理論から演習へ、の原則を採っている。

6. 感想・質問・要望等の募集

皆でシェアできる、良い質問等が集まった場合には、後ほど質問回答動画を作成し、無料で公開する予定です。ぜひ、感想・質問・要望等を PEP までお寄せください。1人何回でもOKです！

Email: info@pep-eigo.com

第2講 「二次口述の全体像」

目標：二次口述本試験の趣旨をイメージと理論の両面から把握

1. 二次口述試験の全体像（イメージ）

⇒動画を見れば疑似体験一発！

今回は特別に、ポイント場面で杉森が動画を適宜停止させ、解説を加える形で！細かい点が理解できたら、後程各自で再度 YouTube にて、今度は中断なしで視聴する。これを繰り返すことにより、本試験の細部と全体像の両方が完全に受験者の頭にインストールされる。



新・面接再現動画



出演

杉森 元 (PEP 校長)

芝田麻里 (PEP 顧問弁護士)

この YouTube 動画のリンク: <https://www.youtube.com/watch?v=xlbFyRe56K0&t=1s>

2. 二次口述試験の理論的理解

⇒試験実施団体 JNTO の公式発表「ガイドライン」等を研究すべし！

予備校業界のうわさは、あくまで二次情報であり、眉唾物もある。原情報に立ち返って正しい理解を！

ただし、原文の読解を独力で行うのは難しいので、テキスト『過去問詳解』の解説を参照。

平成 25 年度の改正と、平成 30 年度の改正を理解することがポイント

⇒ガイド試験普遍のテーマ「通訳案内の業務を疑似的に」



(1) 平成 25 年度の改正

⇒「通訳」「プレゼンテーション」という現在も基本とされる定型の課題が導入された。

意義：評価の客観化と体系的スキルの要求

(2) 平成 30 年度の改正

⇒「実務」の要素が追加された。

意義：資格保持者に実務能力を要求することにより、無資格者との差別化を図る。

(3) 本試験の趣旨

- ・「通訳案内の業務」とは？⇒「通訳」「案内」「実務」が構成要素
- ・それぞれを「外国語訳」「プレゼン」「実務質疑」という定型の課題で審査
- ・必要な対策は「体系的スキルの習得」

結論

⇒二次口述試験の正体を把握し「課題毎の体系的技術の習得」を行うべし！

第3講「通訳 1 理論編」

目標：「通訳」という言語活動の特殊性を理解する

1. なぜできないのか？

⇒体系的技術の必要性の認識が欠如（英語ができれば通訳できる、と何となく思いこんでいる）

◆初心者によくある5つの「勘違い」

- (1) 通訳とは、これまで学校でやってきた「英作文」における問題文にあたる部分を耳で聞き取ってメモに取り、これを英作し、解答を口頭で言うことだ。
- (2) 自分は、試験官による問題文の読み上げをよく「聴いて」いる。
- (3) 読み上げられた問題全文を書き取れば、漏れなく通訳できる。
- (4) 英語を日本語に通訳するより、日本語を英語に通訳する方が難しい。
- (5) 英単語や英語表現をたくさん覚えれば、通訳できる。

2. 実際にやってみる

⇒見るとやるとでは大違い！

H30 逐次通訳過去問勝負！ (下)

過去問を用いた通訳
独習教材。オンライン
ストアで入手可能。



3. どのような点に困難を感じたか？

- (1) 通訳という行為の分析—通訳は英作文とは違う 『逐次通訳七番勝負！』 P.2
 初心者の実感：「書ききれない」「憶えられない」
- (2) 「書ききれない」について
 ⇒「記憶」は「通訳」の一部だが、「メモ」は「手段」に過ぎない！

◆正しい通訳のプロセス（主要ルート）

順序	①	②	③	④
行為	ソース言語のスピーチを聴き取り理解する Listening comprehension	憶える Retention	ターゲット言語に訳す Translation	ターゲット言語で話す Delivery
対象となる情報の種類	音声	意味		音声
使う器官・道具	耳	脳		口

◆初心者がやりがちな通訳のプロセス（副次ルート）

順序	①	②	③	④	⑤	⑥
行為	ソース言語のスピーチを聴き取る	メモを書く	メモを見る	メモの内容を理解する	ターゲット言語に訳す	ターゲット言語で話す
情報の種類	音声	文字 (テキスト情報)	文字	文字⇒意味	意味	音声
使う器官・道具	耳	脳、目、手、ペン、紙	脳、目、紙	脳		口

← 学校英作文のプロセス →

⇒通訳を「学校英作文の延長だ」と捉えてしまうのがまず間違い！

『逐次通訳七番勝負！』 P.2～3 「通訳はプロのサービス」

「通訳せよ」という課題に当然に含まれる要件

- (1) 音声要件
- (2) 時間要件

主要ルートと副次ルート

『逐次通訳七番勝負！』 P.19 「図解 通訳の仕組」

◆前述の要件を充たすためには、まず主要ルートを用いる必要がある⇒なぜ？

「中立情報」とは何か？ 『逐次通訳七番勝負！』 P.11～12

◆「副次ルート」はどう使うのか？ 『逐次通訳七番勝負！』 P.14

=メモすべきものは何か？

数字、固有名詞⇒なぜ？

情報の仕分作業？⇒通訳とは日常の言語活動には含まれない極めて不自然な行為

(4)「憶えられない」について

主要ルートの考察

「憶えられない」⇒

問：なぜ憶えられないのか？

答：「聴いて」いないからです。

問：どうすれば覚えられるか？

答：聴きなさい。

⇒「通訳聴き」という概念～通訳は日常会話とは違う

◆再掲：正しい通訳のプロセス（主要ルート）

順序	①	②	③	④
行為	ソース言語のスピーチを聴き取り理解する Listening comprehension	憶える Retention	ターゲット言語に訳す Translation	ターゲット言語で話す Delivery
対象となる情報の種類	音声	意味		音声
使う器官・道具	耳	脳		口

⇒通訳は、段階を踏む行為（前から入らなければならない。後ろから、途中からは入れない）

(5) 通訳は、まず「聴く」ことから始まる！

なぜ、この当たり前の原則を軽んじてしまうのか？

⇒通訳は非日常行為（普通の人には「訳してもらう」側）

H25 年度の通訳案内士試験で、日本の資格試験史上初めて「通訳せよ」という課題が問われ、多くの英語学習者が、「訳してもらう人」から「訳す人」に転向した！

◆通訳とはどういう行為か？通訳をする上で大切なのは何か？主体と客体の間のパーセプション・ギャップ

	話す vs 聴く	変える vs 変えない
訳してもらう人（一般人や普通の英語学習者）の認識	通訳とは <u>話す</u> こと	通訳とは話者の用いた言語を別の言語に <u>変える</u> こと
訳す人（プロの通訳者）の認識	通訳とは <u>聴く</u> こと	通訳とは話者の話の内容を <u>そのまま</u> 再現すること

「通訳聴き」と「日常会話聞き」とは何が違うか？

⇒目的が違う。目的が違えば、そのやり方も当然違う。

「通訳聴き」とは、「次の瞬間そのスピーカーに『なる』」（音声要件と時間要件を充たす）のが目的

⇒イタコのアナロジー

「通訳聴き」をするためには、「日常生活聞き」の3倍の「集中力」が必要

(6) では、その「集中力」の「対象」は何か？（「何に」集中するのか？）

◆通訳の要件（通訳はマルチタスク⇒以下の情報処理作業を同時進行で行う）

- ①音声要件（耳から音声をインプットし、口から音声をアウトプットする）
 - ②時間要件（原スピーチ終了後ただちに開始し、原スピーチ時間×1.5 ぐらいで完了する）
 - ③原スピーチ一回性の要件（「もう一回お願いします」不可の原則）
 - ④人前要件（通訳者は、人前で仕事をする）
- ⇒上記の要件を充たす手段として必要なことは、
- ⑤緊張下でも精神を集中し
 - ⑥原スピーチを音声的に聞き取る
 - ⑦原スピーチを意味的に聞き取る
 - ⑧原スピーチの情報を分析・仕分けする
 - ⑨仕分けした情報を原スピーチが終了するまでに主要ルート（イメージ化、論理分析、リテンション）と副次ルート（メモ）へ分けて流す
 - ⑩ソース言語のスピーチと同一内容をターゲット言語の適切な語彙・表現でデリバリーする

(7) 日本語力こそ重要！

ところで、日英通訳において「聴く」のは、何語を聞くのか？

⇒日本語である。

結論：日本語を「聴け」ば、通訳できる！英語の勉強の勉強をしても、その効果が表れるのは、最後の段階（①～③の段階ができるようになり、④Delivery に至って初めて英語力が発揮できる）

『逐次通訳七番勝負！』 P.7

⇒会議通訳での経験 母国語を集中して聴く通訳

日英通訳における最大の武器は、英語力ではなく日本語力である！

⇒海外経験の少ない人は不利ではなく、むしろ有利！（日本語経験が多いから）

(8) では、どう訓練すれば「聴ける」（主要ルート・副次ルートを使いこなせる）ようになるのか？

⇒マルチタスクの要件を一部解除して練習する

リテンション、リプロダクション、お絵かきエクササイズ

(9) 日本語を鍛えれば通訳できる説—ホントか？

エビデンス：「プレタームお試しレッスン」

(9) 補足：メモについて

◆メモには2種類ある 『逐次通訳七番勝負！』 P.14

◆メモはグラフィックに書く 『逐次通訳七番勝負！』 P.15

結論

⇒通訳すると云ふは「聴く」事と見つけた！

これを英語に通訳すると？

◆通訳理論 Glossary

- (1) **ソース言語**...訳す対象となる言語。「ターゲット言語」に対する言葉。
- (2) **ターゲット言語**...ソース言語を訳す目的となる言語のこと。たとえば、日⇒英の通訳なら日本語がソース言語で、英語がターゲット言語となり、英⇒日の通訳ならその逆となる。
- (3) **リテンション**...広義には、原スピーチの内容を「保持」することだが、ソース言語によるスピーチ（原スピーチ）を、通訳者が記憶すること、という狭義の意味で主に用いられる。
- (4) **リプロダクション**...原スピーチの内容を、そのまま言語を変えずに再現すること。厳密に同じ単語や表現を使う必要はなく、話全体の内容が同じであればそれでよい。リプロダクションを行うにはリテンションが前提となり、両者を併せて、通訳を練習する際のエクササイズとして用いられる。
- (5) **パラフレーズ**...リプロダクションの発展形で、原スピーチと同一の内容を、できるだけ異なる語彙や表現を用いて（積極的に同義語や類義語に言い換えて）再現すること。
- (6) **サマライゼーション**...リプロダクションの発展形で、原スピーチの内容を要約すること。同一言語で行うバージョンと、別言語に訳しながら要約するバージョンがある。
- (7) **シャドーイング**...原スピーチの少し後から、声を重ねて原スピーチと同じことを言うエクササイズ。外国語の練習法として、また同時通訳の基礎練習法として用いられる。
- (8) **デリバリー**...通訳者がソース言語をターゲット言語に訳出すること、またはその訳。
- (9) **リスニング・コンプリヘンション**...通訳者が、原スピーチを聴き取り理解すること。
- (10) **音声要件**...通訳は音声で行わなければならない、という当然の要件のこと（杉森の造語）。
- (11) **時間要件**...通訳はすぐに行わなければならない、という当然の要件のこと（杉森の造語）。
- (12) **主要ルート**...通訳者がソース言語による情報を処理する際に、その情報がたどる主要なルートのこと。狭義のリテンションと同義（杉森の造語）。
- (13) **副次ルート**...通訳者がソース言語による情報を処理する際に、その情報がたどる副次的なルートのこと。ノートテキングと同義（杉森の造語）。
- (14) **学校英作文**...日本の通常の英語学習者が学校で最初に習う「和文英訳」のこと。これについては、その性質がプロの通訳や翻訳と似て異なるものである、と認識することが重要。
- (15) **中立情報**...主要ルートを通して通訳者の脳内にリテンションされる情報の「意味」のことで、「絵」に代表される、言語によって異なるもの。「絵」以外には、論理関係、時系列、専門用語、等がある（杉森の造語）。
- (16) **通訳聴き**...通訳者が通訳をする目的で、その準備行為として話者のスピーチを聴くこと。話者の話の内容を次の瞬間にそっくり再現する目的で聴くので、情報の論理分析、記憶、メモ取り等を同時進行で行う必要があり、極めて高度な集中力を要する（杉森の造語）。
- (17) **通訳メカニズム**...通訳者が通訳を行う際に用いる仕組全体のこと（杉森の造語）。
- (18) **お絵描きエクササイズ**...原スピーチの内容を「絵」に表して描いてみる通訳練習法（杉森の造語）。

第4講 「通訳2 演習編」

目標：通訳の具体的練習法を知る

1. 通訳演習

- (1) リテンション・リプロダクション (要件10の解除)
- (2) お絵かきエクササイズ (イメージ化とメモ取りの練習)
- (3) パラフレージング (リプロダクションの応用発展)

2. 具体的勉強法

- (1) とりあえず、全過去問につき上記のエクササイズを行う (過去問は全受験者の「常識」!)。「お絵かき」の場合、聴き取りの負荷を解除して行う場合は『過去問詳解』各年度版を用いる。逆に聴き取りの負荷をかけて行いたい場合は、DVD『過去問勝負!』各年度版を用いる。慣れてきたら、英語に通訳してもよい。

- (2) 過去問を制覇したら、本番に備え、「初見」の問題につき、上記を行う。DVD「逐次通訳番勝負!」シリーズを用いれば、最も効率よく、経済的に新作問題を演習できる。

- (3) 近年は、問題文が長文化している。これに備えるためには、H28年度以降の「過去問勝負」と「長文六番勝負」を用いるとよい。



3. 語彙

「たかが単語、されど単語」

「単語を知らない、即終了」ではないが、単語が重要であることに疑いはない。

参照:『H30 詳解 (上)』P.145



結論

⇒「非日常的行為のマルチタスク (通訳聴き)」をマスターするには、理論に基づく各個撃破の演習から入り、あとは練習、練習!

第5講 「実務質疑」

目標：言語活動タイプの変化へ冷静に対応し「会話」をする

1. 課題の内容

- (1) H30 (2018) 年度より導入された新課題である。(⇒新・面接再現動画)
- (2) ガイドラインによると、通訳課題に付属する課題として位置づけられている。
- (3) 「関連した」の意味⇒内容は関連しているが、言語活動としては全くの別物

2. 言語活動としての実務質疑

- (1) 受験者の頭の切り替えが非常に重要！

直前の課題である通訳（音声による変態的言語活動＝通訳聴き）の後に、「まずこの書面を読んでシチュエーションを把握し、解決策を講じ、口頭で発表せよ」（文字によるケーススタディ）を命ぜられる。

課題	外国語訳（通訳）		言語活動の種類を2つモードチェンジ	実務質疑	
	時間割	読上げ 20～30 秒		訳出 1 分以内	黙読 30 秒
受験者に命ぜられるタスク	読上げる日本語を「聴け」。	その英訳を言え。	この書面を 読め 。状況を把握し、解決策を講じよ。	解決策を口頭で発表せよ。	
音声か文字か	音声		文字	音声	
自己情報（普通）か他人情報（変態）か	他人情報（変態）		自己情報（普通）		

⇒音声から文字へ、変態から普通へ、のモードチェンジ（「通訳聴き」解除）が大切！

⇒ちなみに、プレゼンから通訳へと課題が移る際も、モードチェンジ（「通訳聴き」オン）が要る。

3. 過去問の実例を分析

- (1) 実物の過去問を確認

(2) メモのテンプレート

①内容	期待していた屋外アトラクションが不可
②原因	悪天候⇒お客もガイドも無責
③案	屋内アトラクション ：温泉、博物館、食事、土産…

(3) 口頭によるガイドとしての対応の模擬

①ガイドの態様として気を付けるべき点

- (1) 一方的に話さない（相手にしゃべらせ、流れに乗る）
- (2) 丁寧な英語表現を用いる
- (3) 相手の心情に寄り添いながらも理性的に話す

②言うべきこと

- (1) 話しかける（Excuse me, sir.）
- (2) 「～の件ですが」（Regarding...）
- (3) 現状を、理由を添えて説明する。お客の希望は一応もつともであると肯定する。
- (4) 自分が問題解決のために尽くした事実を述べる。あるいは、問題の発生は不可抗力である旨を説明する。
- (5) 解決策のオプションを提示し、相手の希望を聞く。その際、設定に矛盾しない限り、創作を入れてもよい。また、先の通訳問題文に含まれていた事実を使うこともできる。

結論

⇒「言語活動モードを切り替え、冷静に与えられた条件から必要な要素を抽出し、それを使ってトラブルに対応する力、対話力、演技力が問われる。

第6講 「プレゼン1 理論編」

目標：楽しい内容を効果的に伝える

1. プレゼンテーションと Q&A 課題の趣旨

(1) 何が求められているのか

ガイドラインを再確認⇒通訳案内業務の疑似（試験官を外国人観光客、受験者をプロの通訳ガイドに見立てた模擬ガイディング）

◆通訳案内士試験二次口述プレゼンテーションと英検1級二次試験スピーチとの比較

	英検1級スピーチ	通訳案内士プレゼンテーション
本質	論理的説得	ガイド（わかりやすい説明と情報提供、おもてなし精神）
内容	社会性の高い話題	日本歴史・日本地理・一般常識（外国人観光客の関心事）
トピックの言語	英語	日本語
考慮時間	1分	30秒
メモ取りの可否	不可	可
トピック選択	5択	3択
スピーチ時間	2分	2分
評価方法	純客観的に判断する	主観面を客観的に判断する
褒め言葉は	Persuasive!	Informative!

『モデル・スピーチ集 VOL.1』

P.12 より抜粋



2. 型を知る—テンプレは、恥ではなく役に立つ

(1) トピックの分析は高度なコミュニケーションの準備行為

(2) 「型」（万人共通のプラットフォーム）に則ってこそコミュニケーションする

(3) 「型を守る＝創造性の否定」ではない

(4) 「型」には①「形式的型」と、②「実質的型」の2種類ある

①「形式的型」とは何か？

- ・ 30秒考慮、デリバリー2分⇒ボリュームコントロール、タイムマネジメント
- ・ 選択したトピックを冒頭英語で告知

②「実質的型」とは何か？

- ・ 導入・本体・結論

- ・外国人観光客が興味を持つ内容をガイドがお客に対して話す態様で

3. トピック選択&プレゼン構成—まずトピックを見よ！答はトピックに書いてある！

(1) トピック選択

- ①自分が一番よく知っているものを選ぶ（知らないことは話せない）
- ②トピックを類型化し、「どの類型の話題を選ぶか」を予め決めておく（時間の節約）
例：「非観光アトラクション・時事解説」は選ばない、ネガティブは選ばない、食べ物があったら選ぶ、等

(2) プレゼンの構成

- ①「開いたトピック vs. 閉じたトピック」という観点

「東北地方の見所」(H25) ...開いたトピック

「血液型」(H27) ...閉じたトピック

- ②話のゴールを見定めて、そこへめがけて話す

⇒お題を見れば、ゴールが決まる（あらかじめ類型化しておく）

- (1)「琵琶湖」「鎌倉」などの観光地なら

⇒よいところなので、ぜひいらしてみてください。I recommend a visit.

- (2)「回転寿司」「たこ焼き」などの食べ物なら

⇒おいしいので食べてみてください。Please try takoyaki if you have the chance.

- (3)「盆踊り」「お花見」などの体験型イベントなら

⇒ぜひ、体験してみてください。I hope you enjoy ohanami.

- (4)「食品サンプル」「漆器」などのお土産アイテムなら

⇒お土産にぜひどうぞ。I recommend including shikki among your souvenirs.

- (5)「働き方改革」「待機児童」などの解説ものなら

⇒今回の私のお話で、皆様のご理解が深まれば幸甚です。I hope this helps you appreciate current Japanese society.

- (6)万能の終わり方

⇒今回の私のお話が、皆様のお役に立てば幸いです。I hope you find this information helpful.

(3) 話の内容

なるべく「観光アトラクション」（見る・食べる・遊ぶ＝るるぶ）に結び付ける

⇒「なるほど!」「面白い!」「楽しい!」「役に立つ情報だ!」と言ってもらえる話にする。

4. デリバリー

- (1) 形式的型は守り、決まり文句を準備する

- ①トピック告知 I would like to talk about ~

トピックを英語に翻訳するか、という問題

- (1)そのまま言う...純粋な日本事象や固有名詞：「忍者」「寿司」「鯉のぼり」「鎌倉」等

- (2)必ず訳す...お題がセンテンスやフレーズの場合あるいは定訳があるもの：「東北地方の

見所」「日本最大の木造建築」「19世紀に起きた歴史的出来事」

(3) どちらでもよい...訳語もあるが日本語のままでも通用しているもの:「東海道五十三次」「富嶽三十六景」「桜」

②結辞 Thank you.

(2) 典型的日本事象の定義はできるだけたくさん暗記しておく

・ *Sakoku* was a policy of national isolation employed by the Edo Shogunate from the early 17th to the mid-19th century.

・ The *Shinkansen* is a super-express train nicknamed “the Bullet Train.”

・ *Takarakuji* are public lotteries.

⇒過去問の重要性 (「過去問は繰り返す」受験の鉄則)

∴『過去問詳解』や『モデル・プレゼンテーション集 過去問編』によるインプットが重要
絵馬、初詣、厄年、高野山、風鈴、鹿威し、彼岸、日本の城、東海道五十三次、漆器、打ち水

(3) 実質的型の活用による内容と分量のコントロール

①プレゼンテーションの典型的構造

導入部⇒トピック告知と定義 (2~3 センテンス、15 秒)

本体⇒外国人観光客にとって楽しく有益な情報提供 (5~10 センテンス、60 秒+)

結論⇒意義をまとめ、おススメをする (3~4 センテンス、15 秒)

②注意点

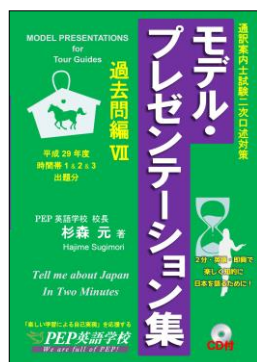
外国人観光客が興味を持つ内容を、ガイドがお客に対して話す態様で
時系列、外見から内容へ、抽象⇒具体⇒抽象のパターン

(4) プレゼンテーションの実例...構造、内容、分量、時間のコントロール

プレゼン例「回転寿司」(H29 年度時間帯 3 出題)

『モデル・プレゼンテーション集 過去問編VII』より抜粋

(200 words) CD 朗読約 1 分 30 秒



	英語	日本語
導入	<p>I would like to talk about kaiten-zushi.</p> <p>Kaiten-zushi is a popular restaurant style in Japan. Literally “rotating sushi,” it features small plates of sushi on a conveyor belt winding through the restaurant. Customers pick the plates they want as they pass, and are billed by the number and the type of plates they have chosen.</p>	<p>私は、回転寿司についてお話しいたします。</p> <p>回転寿司は、日本で人気のあるレストラン方式の1つです。回転寿司とは、文字通りには「回る寿司」という意味で、寿司を乗せた複数の小さい皿が、ベルトコンベヤーにより店内を曲がりながら動くのが特徴です。お客は、自分のところへ来た皿の中から、食べたいものを取り、会計は、自分が取った皿の数と種類に基づいてなされます。</p>
本体	<p>Kaiten-zushi was invented in the 1950s by Yoshiaki Shiraishi, founder of Genrokuzushi. Looking for a solution to the labor shortage and to cut costs, he got the idea from beer bottles on an assembly line in an Asahi brewery. Genrokuzushi presented this at Osaka Expo '70, where McDonald's and KFC also debuted in Japan, and became famous.</p> <p>After World War II until the success of kaiten-zushi, sushi was regarded as a luxury food: Ordinary people ate sushi only on special occasions, and sushi bars were exclusive. “I will treat you to sushi” meant something special!</p>	<p>回転寿司は1950年代に、元禄寿司の創始者である白石義明によって発明されました。人手不足を解消し、かつ経費を削減するべく、アサヒビールの工場で生産ライン上のビール瓶を見たことをヒントに、彼はこのアイデアを思いつきました。元禄寿司は、マクドナルドやKFCが日本デビューした1970年の大阪万博に出店し、有名になりました。</p> <p>第二次世界大戦後、回転寿司が成功するまでは、寿司は贅沢な食べ物とされていました。一般の人が寿司を食べられるのは特別な場合だけで、寿司屋は通常、高級で敷居が高いものでした。この時代「今度寿司をおごるから」と言うと、これは相当特別の意味を持ったものです。</p>
結論	<p>Shiraishi's dream for success and making people happy has come true. Today, kaiten-zushi attracts many, especially families, who were once excluded from formal sushi bars. They love the low-priced, tasty sushi and the various high-tech systems, such as the touch-panel ordering system. I hope you enjoy kaiten-zushi soon. Thank you. (200 words)</p>	<p>ビジネスで成功するとともに人々を幸せにしたい、という白石の夢は現実のものとなりました。今日、回転寿司は多くの人々にぎわっており、特に、昔ながらの寿司屋でならば敬遠されがちだった家族連れの姿が目立ちます。こうした人々は、安くて美味しい寿司だけでなく、タッチパネルによる注文方式など、さまざまなハイテクのシステムに魅了されています。ぜひ、皆さんにも回転寿司を楽しんでいただきたいと思います。どうもご清聴ありがとうございます。</p>

(5) 質疑応答

過去問詳解からわかること

- ① 必須知識とそうでない知識
- ② 誠意ある態度



(6) プレゼンテーションの練習法

プレゼンテーションは、通訳に比べ、日常のコミュニケーションに近い活動である。

⇒互いに自分の発想を言葉にし、情報のやり取りを行う。

しかし、それでも「技術」(アート) であることは確か。

⇒その習得法は？

「学ぶ」の語源は「まねぶ」

守破離 (しゅはり) — Wikipedia より引用

守破離、日本での茶道、武道、芸術等における師弟関係のあり方の一つ。日本において左記の文化が発展、進化してきた**創造的**な過程のベースとなっている思想でもある。個人のスキル (作業遂行能力) を3段階のレベルで表している。

まずは師匠に言われたこと、型を「守る」ところから修行が始まる。その後、その型を自分と照らし合わせて研究することにより、自分に合った、より良いと思われる型をつくることにより既存の型を「破る」。最終的には師匠の型、そして自分自身が造り出した型の上に立脚した個人は、自分自身と技についてよく理解しているため、型から自由になり、型から「離れ」て自在になることができる。武道等において、新たな流派が生まれるのはこのためである。

個人のスキル (作業遂行能力) をレベルで表しているため、茶道、武道、芸術等だけでなく、スポーツ、仕事、勉強、遊び等々、世の中の全ての作業において、以下のように当てはめることができる。

- 守：支援のもとに作業を遂行できる (半人前)。 ～ 自律的に作業を遂行できる (1人前)。
- 破：作業を分析し改善・改良できる (1.5人前)。
- 離：新たな知識 (技術) を開発できる (創造者)。

例 (落語)

守：古典落語を忠実に表現することができる。

破：古典落語をより面白くアレンジすることができる、あるいはよりわかりやすく表現することができる。

離：経験を活かし新作落語を作ることができる。あるいは、落語から進化した新たな芸風を作ることができる。

「守破離」をプレゼンテーションに当てはめると

守：モデル・プレゼンテーションを読み込む、音読する、暗唱する

破：モデル・プレゼンテーションを分析・アレンジ

離：オリジナルのプレゼンテーションを書いてみる、即興でやってみる

結論

⇒プレゼンテーションは「楽しいコミュニケーション」を目指す。その技術の習得は「守破離」で！

第7講「プレゼン2 演習」

目標：プレゼンテーションの演習方法を知る

(1) プレゼンテーションの要件⇒ガイドライン参照

- ①訪日外国人観光客の関心分野たるお題3つのうち受験者が任意に選んだ1につき
 - ②即興（30秒考慮）で
 - ③受験外国語で
 - ④通訳ガイドの立場から
 - ⑤2分間で
- プレゼンテーションすること。

プレゼンは、通訳よりは日常のコミュニケーションに近い。
しかし、それでも要件の多い課題であることには違いない。

(2) 受験者が準備すべきこと

「即興の準備」？！

要件	そのために必要な知識・技術	具体的習得方法	具体的教材・講座、独学の方法
①訪日外国人観光客の関心分野たるお題3つのうち受験者が任意に選んだ1につき	外人観光客の関心分野は何であるか及びその内容に関する知識	知識のインプット	『モデル・プレゼンテーション集』などの書籍
②即興（30秒考慮）で	即決し、まとめる技術	アウトプット（演習）	「Skype 個人レッスン」など 独学なら『過去問詳解』や『モデル・プレゼンテーション集』などにあるお題につき、「プレゼン演習タイマー」を用いての演習
③受験外国語で	①一般的語学力、 ②当該分野に関する語彙力	インプット7割 アウトプット3割	同上
④通訳ガイドの立場から	お客さんである外人観光客は何を欲して	インプット7割 アウトプット3割	同上

	いるか、を知る (ホスピタリティ)		
⑤ 2分間で	論理力とまとめる技術	アウトプット	同上

練習法⇒最初は要件を少し緩めて練習し、徐々に負荷を上げてゆく

ステップ1：モデル・プレゼンテーションの読み込み (インプット)

ステップ2：モデル・プレゼンテーションの朗読・暗唱 (インプット⇒アウトプット)

ステップ3：モデル・プレゼンテーションをメモ化し、メモから話す練習 (アウトプット)

ステップ4：セミ即興 (アウトプット)

ステップ5：本番と同じ要件での完全な即興 (アウトプット)

セミ即興プレゼンテーション演習

プレゼンメモのテンプレート（開いたトピック+観光アトラクション）

導入	<p>冒頭トピック告知：I would like to talk about ...</p> <p>定義：地名なら地理的な大まかな位置、歴史関係なら大まかな時代（～世紀）、食べ物なら素材、などを述べると定義になりやすい）</p>
本体	<p>～にはたくさんの魅力がある。その中でも有名なのは…</p> <p>...has many attractions. Among these is ...</p> <p>以下、自分の一番得意な具体例に持ち込む。</p>
結論	<p>再抽象化：先に述べたように、～にはたくさんの魅力がある。</p> <p>As I said,...has many attractions.</p> <p>I hope you enjoy...</p> <p>結辞：Thank you.</p>

第8講「出題予想」

目標：当たるも八卦当たらぬも八卦？軽く聞いてください。

- (1) コロナの出題への影響
- (2) ズバリ何が出る？

第9講「学習計画の立て方」

目標：即行動！

- (1) 二次対策は即着手！（再掲）

問：「筆記試験の結果が思わしくなかったけれど、二次口述の対策をすべきですか？」

答：「筆記試験の出来にかかわらず、全員が即、二次口述対策に着手すべきです」

理由：

- ①試験は水もの（「絶対ダメ」と思ったが受かっていた、というケースがある）
 - ②たとえ今回の筆記がダメでも、二次口述は、受験を続ける限りいつかは必ず受けるもの（最終合格だけが「合格」）
 - ③二次口述の課題は、合格後まで役に立つ「スキル」である（早く始めて損はない）
 - ④11月の筆記試験合否発表を待ってからの着手では、時間的に間に合わない（せっかく一次を通過したのに、二次でしくじるのはもったいない）
- (2) 着手したらフルスロットル！インプットすべき量は多い
 - (3) 過去問を重視すべき

第10講「その他」

目標：総括と通訳ガイド学習の意義

- (1) 総括
- (2) 通訳ガイド学習の意義

セミナー全体の結論

⇒通訳ガイド試験受験は「楽しい学習による自己実現」の一
発現。楽しく、正しく、頑張って勉強し、合格し、そしてそ
の先へ進みましょう！

Skype個人レッスン

ネット時代こそ個人教授！理想的コーチングで、
全てのの人に楽しい学習による自己実現を！

ネット環境があれば、
いつでも自宅でも気軽に楽しく
プライベート・レッスン！



PEP自慢のユニークな3講座！杉森校長の個人コーチを、ご自身のご興味に応じてお受けいただけます。



英語学習者が日本を英語で発信することに目覚めたとき、挑戦すべきが通訳ガイド試験です。二次口述の課題をこなす技術をコーチし、合格をサポートします。



PEP 英語学校の最上級講座です。従前、プロの独占物であった会議通訳技術を、逐次通訳から同時通訳まで、初心者楽しく分かりやすくコーチします。



文法、発音、語彙など、英語の基礎力を強化する講座です。無味乾燥な学校教科書英語から離れ、大人の知的好奇心を満足させながら、英語力を高めて下さい！

お問い合わせはHPからどうぞ！動画による説明も自由にご覧いただけます。



まずは、HPのお問い合わせフォームから「講座に興味がある」旨をお知らせください。ご質問等あれば、併せてお尋ねください。メールにてお返事申し上げます。その後「もう少し詳しく」ということであれば、Skypeにて面談し、直接お話し、ご希望により体験レッスンなども可能です。照会・相談・質問等は全て無料であり、ご照会様が最終的に受講の意思表示をする前までならば、自由に手続を中止できます。また、レッスンは1コマ単位で受けることが可能なので、「自分に合わない」といったリスクは、最小限に留めることができます。お気軽にどうぞ。

「楽しい学習による自己実現」を応援する

PEP英語学校
We are full of PEP!
Self-Realization through Learning

HP: www.pep-eigo.com

Mail: info@pep-eigo.com

PEP 英語学校

検索



〔講師紹介〕

杉森 元 Hajime Sugimori

福岡県出身。大学で歴史学を専攻し社会科教員免許を取得。大手塗料会社海外営業部勤務の後、通訳案内士試験予備校講師、英検 1 級講師、代々木ゼミナール英語科講師、駿台予備学校英語科講師など英語教育に従事。その後、サイマル・インターナショナル専属同時通訳者となり、サイマル・アカデミー通訳者養成コースの講師も担当した。現在、PEP 英語学校校長。通訳案内士試験準備講座と会議通訳小教室の講師を務める。「楽しい学習による自己実現」がモットー。行政書士資格や法務博士号を持つなど、法律家としての顔もある。

通訳案内士試験関連著書に『モデル・プレゼンテーション集』『通訳案内士試験二次口述過去問詳解』『逐次通訳七番勝負!』『コンピューター・フレンドリー日本事象英単語帳』等、英検 1 級対策書に『モデル・スピーチ集』がある。



〔PEP 英語学校紹介〕

平成 25 年に「楽しい学習による自己実現」を理念として開校。英語学習を志す人すべてが、地理的、時間的、経済的ハンデを最小限にして自己実現できるよう支援する目的で、Skype を利用した個人レッスンを常設講座とし、ユニークな高品質教材の開発販売、YouTube 動画配信、等を行っている。現在 Skype で学べるのは、①全国通訳案内士試験二次口述準備講座、②会議通訳小教室、③有名スピーチ暗唱コース、の 3 つである。この中の最上級講座が②の会議通訳小教室であり、プロ同時通訳者志望者から、英語学習の一環として学ぶ方まで、広く通訳技術を分かりやすく学習できる。

PEP 英語学校理念

実務英語と受験英語を融合し、

楽しく効率的に英語を学び、

各人の自己実現を目指す

Self-Realization through Learning

「楽しい学習による自己実現」を応援する



www.pep-eigo.com